

「東京水道経営プラン2021」 令和6年度事業評価

経営計画に掲げた施策の達成状況及びその評価

令和7（2025）年10月

東京都水道局

表紙写真撮影者

KEIJI NAKAGAWA 様

はじめに

本資料は、経営計画に掲げた施策の達成状況及びその評価を報告するものです

評価結果を分かりやすく公表し、都民へのアカウンタビリティを確保すること及び評価結果を事務事業や予算編成に反映し、経営効率の一層の向上を図ることを目指し、事業評価制度を導入しています。

現在、東京都水道局では、令和3年度を初年度とする5か年の「東京水道経営プラン2021」（経営計画）に基づいて事業を運営しています。今回は令和6年度の達成状況を報告するものです。

東京水道経営プラン2021とは

自然災害の多発、デジタルトランスフォーメーションの推進など、水道事業を取り巻く環境は、かつて経験したことのない局面にあります。

こうした状況を踏まえ、令和2年7月に、より長期的な視点に立ったおおむね20年間の事業運営の基本的な方針である「東京水道長期戦略構想2020」を策定しました。この長期戦略構想で掲げた目指すべき将来の姿を実現するため、令和3年度から令和7年度までの事業計画と財政計画を定めたプランが「東京水道経営プラン2021」です。

（注）報告対象期間は、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）です。
ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。



目 次

■はじめに

■ I 強靱で持続可能な水道システムの構築

第1 安定給水

- (1) 水源対策 1
- (2) 水質対策 3
- (3) 導水施設の二重化・更新、送水管のネットワーク化・更新 6
- (4) 施設の適切な管理と長寿命化 11
- (5) 大規模浄水場の更新 16
- (6) 給水所の新設・拡充・更新 18
- (7) 管路の更新・適正管理 21
- (8) 多摩地区水道の強靱化 25

第2 様々な脅威への備え

- (9) 災害対策 28

第3 新技術の活用

- (10) 新技術を活用した水道システムの構築 36

目 次

■ II お客さまとつながり、信頼される水道の実現

第4 双方向コミュニケーション

(11) お客さまとの双方向コミュニケーション	39
-------------------------	----

第5 お客さまサービスの向上と業務の効率化

(12) デジタル化の促進によるお客さまサービスの向上と業務の効率化	42
------------------------------------	----

(13) 災害時の応急給水対策	45
-----------------	----

第6 環境に配慮した事業運営

(14) 環境対策	46
-----------	----

■ III 東京水道を支える基盤の強化

第7 グループ経営の推進

(15) 業務運営体制の強化	50
----------------	----

第8 強固な人材基盤

(16) 人材確保・育成	52
--------------	----

(17) 他事業体貢献	53
-------------	----

第9 健全な財政基盤

(18) 健全な財政運営	54
--------------	----

(19) 経営プランの推進	56
---------------	----

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

第1 安定給水

(1) 水源対策

目指す将来像

- 水源の安定化が図られており、確保した水源を最大限効率的に活用しながら、安定給水を継続しています。
- 水道水源林は、水源かん養などの機能を持続的に発揮させる森づくりを行い、安定した河川流量の確保と小河内貯水池の保全が図られています。
- 民有林は、林業経営が継続しており、水源かん養などの機能も向上しています。

令和6年度の主な取組

水源の適切な確保



- ▲都が管理する小河内貯水池
東京の貴重な水がめである小河内貯水池を将来にわたり運用し続けていくため、小河内貯水池予防保全計画に基づき、貯水池堤体の補修工事等を実施しました。

水道水源林の適正管理・保全



- ▲間伐を行った森林
健全な水源林の育成・管理のため、間伐や枝打などの森林保全作業を着実に実施しています。



- ▲展示リニューアル後のふれあい館
360度シアターの導入など、より楽しめる、体感できる施設としてリニューアルしました。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
水源の適切な確保	霞ヶ浦導水事業 (国土交通省事業)	施工					取水施設及び導水施設等の工事を実施	霞ヶ浦導水事業は、計画どおり取水施設及び導水施設等の工事が進捗しています。引き続き、事業主体である国に対して、工期の厳守と徹底したコスト削減を求めています。 小河内貯水池総合予防保全事業は、計画どおり、貯水池堤体の補修工事等を実施しており、令和6年度は基礎排水孔の補修工事等を実施しました。引き続き、小河内貯水池予防保全計画に基づき、事業を推進していきます。 井戸の更新・統廃合等は、計画どおり実施しました。引き続き、事業を推進していきます。
	小河内貯水池 総合予防保全事業	調査・設計		施工			小河内貯水池堤体の補修工事等を実施	
	井戸の更新・統廃合等	施工					井戸水源の更新を実施	
水道水源林の適正管理・保全	水道水源林特設サイトの開設	準備	運営				特設サイトを運営	水道水源林特設サイトは随時更新し、運営しています。 ふれあい館の展示リニューアルは、計画どおり完了しました。 適切な管理・保全は、計画どおり進捗しています。令和3年度から累計2,415haの管理・保全を実施しました。 民有林の積極的購入は、計画どおり進捗しています。令和3年度から累計922ha購入しました。 多摩川水源森林隊は、計画どおり活動を実施しています。令和3年度から累計5,300人が参加しました。 その他、シカ食害対策や花粉症対策、連携した森づくりは、計画どおり取り組んでいます。
	ふれあい館の展示リニューアル	検討・準備		順次更新（完了）			リニューアルオープン	
	適切な管理・保全	600ha/年					606ha	
	シカ食害対策	随時実施					地元自治体等と連携して管理捕獲を実施	
	花粉症対策	随時実施					スギやヒノキの間伐や枝打等を実施	
	多様な主体と連携した森づくり	随時実施					多摩川水源サポーターや企業の森等を実施	
	民有林の積極的な購入	200ha/年					206ha	
	多摩川水源森林隊の活動	1,500人/年					1,553人	
	地元自治体等関係機関と連携した基盤整備	順次実施					関係機関による情報共有を実施	

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

(2) 水質対策

目指す将来像

- 気候変動に伴う原水水質の変化に対して、新たな技術の導入等により、浄水処理が適切に行われるとともに、水源から蛇口に至るきめ細かな水質管理によって、安全でおいしい水道水が供給されています。
- 水道水の水質や安全性などの情報が、お客さまにとって分かりやすく発信されており、お客さまの水質に対する満足度が向上しています。

令和6年度の主な取組

原水水質に応じた適切な対応



- ▲水処理実験施設
水処理実験により、高分子凝集剤等の浄水処理技術の検討を行っています(上流部浄水場(仮称)整備)。

適切な水質管理



- ▲自動水質計器
水道水が安全であることを24時間365日監視しています。令和6年度は、区部で5か所、多摩地区で5か所に自動水質計器を増設しました。

直結給水方式への切替促進及び貯水槽水道の適正管理



- ▲貯水槽水道の点検調査
管理状況を確認するとともに、必要に応じて指導・助言等を行い、施設の適正管理と直結給水方式への切替を促しています。

水質の見える化



- ▲水質の見える化
水道水の水質や安全性等の情報を局HPを活用して分かりやすく発信しています。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
原水水質に応じた適切な対応	高塩基度PACの導入(※) ※ PAC(ポリ塩化アルミニウム)…浄水場での凝集沈殿処理の過程で、原水の濁り成分等を沈めるために使用する薬品	順次導入					高塩基度PACの導入効果について検証	高塩基度PACは、計画どおり令和5年度までに浄水場4か所(東村山、三園、朝霞及び金町)に導入しました。令和6年度は、運用を通じて、処理性などの検証を行いました。令和7年度は、他の浄水場への導入に向けた検証を行います。
	高分子凝集剤の導入(上流部浄水場(仮称))	調査・設計				施工	上流部浄水場(仮称)の設計に併せ、水処理実験を実施	高分子凝集剤の導入については、計画どおり水処理実験を実施し、沈殿速度の向上を確認しました。令和7年度は、この結果を踏まえ、導入に向けた検討を進めるとともに、上流部浄水場(仮称)の工事を進めていくこととしています。
	実験施設の整備(三園浄水場) 見込	調査・設計	施工			(完成)	既存施設の撤去に向けた設計を実施	実験施設の整備は、過年度に延伸した工程どおり調査・設計を実施しましたが、取組内容の見直しを設計に反映させたことから、完成時期を令和10年度に延伸しました。令和7年度は既存施設の撤去工事を進めていくこととしています。
水質管理 適切な	TOKYO高度品質プログラムの充実	順次実施					高度品質プログラムの見直しを実施	TOKYO高度品質プログラムは、計画どおり最新の調査結果をプログラムに反映しました。令和7年度も、プログラムの見直しを行っています。
	自動水質計器の増設	調査・設計	毎年度5か所増設				10か所増設(累計13か所増設)	自動水質計器の増設は、半導体等供給不足に伴う資材調達の遅れが生じていましたが、予定どおり令和8年度までに計25か所増設していきます。

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
直結給水方式への切替促進 及び貯水槽水道の適正管理	給水管増径工事	順次実施					303件	給水管増径工事は、直結給水方式への切替で工事が必要となった場合に、適切に対応しています。 貯水槽水道の点検調査は、年間15,000件の計画を上回る調査を実施し、令和3年度から累計で約58,300件となりました。 令和7年度も、引き続き、着実に実施していきます。
	貯水槽水道の点検調査	順次実施（毎年度約15,000件）					約17,400件	
水質の見える化	あんぜん・あんしん水質指標	随時、達成状況をHPに掲載					あんぜん・あんしん水質指標の達成状況を掲載	あんぜん・あんしん水質指標及び水質データの見える化は、水質指標の達成状況や水質検査結果等、ホームページの掲載内容を更新しました。 今後もホームページを随時更新していきます。
	水質データの見える化	HP改善	随時更新				PFOS、PFOA等に係る東京都の取組や、水質検査結果についてデータ更新等を実施	

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

(3) 導水施設の二重化・更新、送水管のネットワーク化・更新

目指す将来像

○導水施設や送水管のバックアップ機能の確保や耐震化が進むとともに、計画的な更新がなされ、災害や事故時においても安定給水が確保されています。

令和6年度の主な取組

導水施設の二重化・更新



▲シールドトンネルの様子(東村山境線(仮称))
トンネル築造工事を実施しました。



- ①東村山境線(仮称)
- ②第二朝霞引入水路(仮称)
- ③上流部浄水場(仮称)関連導水管
- ④第二三園導水管(仮称)
- ⑤第二村山線
- ⑥第一村山線
- ⑦朝霞東村山線

▲導水施設の二重化・更新の概略図

送水管のネットワーク化・更新

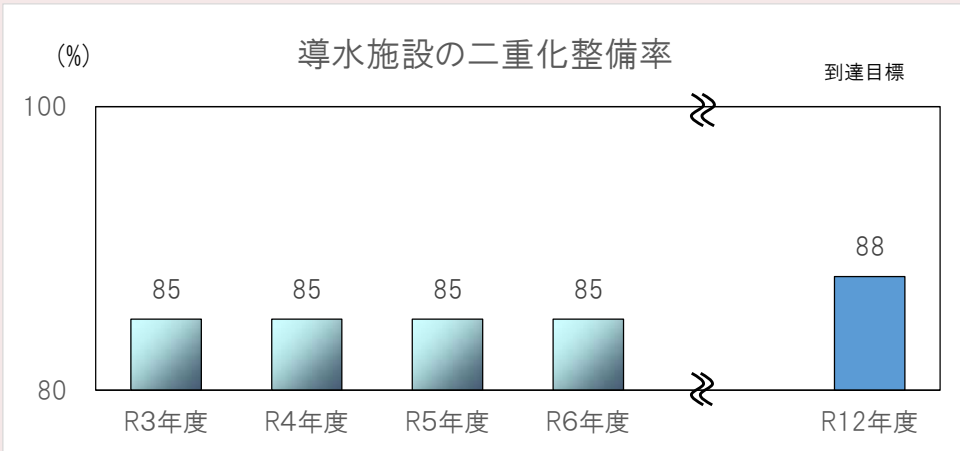


▲制水弁の据付状況
第二朝霞上井草線は、令和5年度に整備が完了し、運用を開始しています。



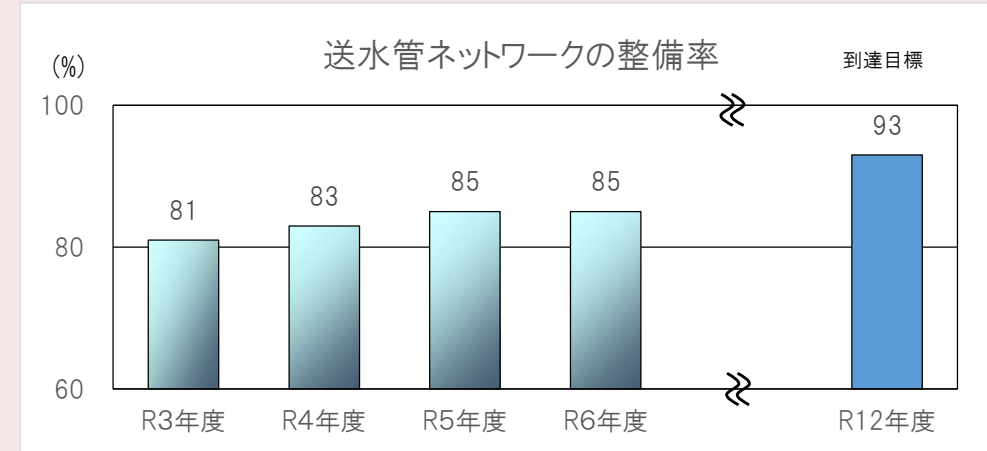
▲シールドトンネルの様子
多摩南北幹線は、令和4年度に整備が完了し、運用を開始しています。

整備目標の達成状況



指標の説明：二重化すべき導水施設において、整備が完了した割合

整備目標の達成状況



指標の説明：ネットワークを形成するために必要な送水管において、整備が完了した割合

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
導水施設の二重化	東村山境線(仮称)	見込	施工 (8年度完成)				トンネル築造等の工事を 実施	東村山境線(仮称)は、強固な地盤によりトンネル築造に時間を要したことから、完成時期の延伸を見込んでいます。令和7年度は、引き続き工事を進めていきます。
		施工						
	第二朝霞引入水路(仮称)		調査・設計		施工		準備工事を実施	第二朝霞引入水路(仮称)は、計画どおり準備工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
	上流部浄水場(仮称)関連導水管		調査・設計		施工		立坑築造等の工事を 実施	上流部浄水場(仮称)関連導水管は、計画どおり立坑築造等の工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
	第二三園導水管(仮称)				調査・設計		導水管整備に向けた基本設計を実施	第二三園導水管(仮称)は、計画どおり調査・設計を実施しました。令和7年度も、引き続き調査・設計を進めていきます。
導水施設の更新	第二村山線	見込	健全度調査	調査・設計		施工(8年度完了)	管路上の巡視点検を行うとともに、導水施設の水量等を監視し、異常の無いことを確認	第一・第二村山線は、令和4年度までに健全度調査を行い、管外面及び管内面ともに健全であることを確認したため更新時期を見直しました。更新までの間は、経過観察していきます。
		健全度調査(完了)		経過観察				
	第一村山線	見込	健全度調査	調査・設計			準備工事を実施	朝霞東村山線は、計画どおり準備工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
		健全度調査(完了)		経過観察				
	朝霞東村山線		調査・設計		施工			

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価		
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度				
送水管のネットワーク化	多摩南北幹線(※1)	施工 (完成)					-			
	第二朝霞上井草線(※2)	施工 (完成)					-			
	新城南幹線(仮称) 見込	調査・設計			施工 (9年度完成)		送水管整備工事を 実施	新城南幹線(仮称)は、計画どおり送水管整備工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、関係機関との協議を踏まえた工程の見直しを行ったことから、完成時期の延伸を見込んでいます。		
		調査・設計			施工					
	上流部浄水場(仮称)関連送水管	調査・設計			施工		立坑築造等の工事を 実施		上流部浄水場(仮称)関連導水管及び境浄水場関連送水管は、計画どおり立坑築造等の工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。	
	境浄水場関連送水管		調査・設計		施工		立坑築造等の工事を 実施			
	新青山線(仮称) 見込	調査・設計				施工			送水管整備に向けた 基本設計を実施	新青山線(仮称)は、シールドトンネルのルート選定等に時間を要したことから、調査・設計期間を延伸しました。
		調査・設計				(延伸)				

※1 多摩南北幹線(仮称)の名称は、多摩南北幹線に決定しました。

※2 第二朝霞上井草線(仮称)の名称は、第二朝霞上井草線に決定しました。

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
送水管の更新	町田線	見込	健全度調査	調査・設計		施工	調査・設計を実施	町田線は、更新方法等の検討に時間を要していることから、調査・設計期間を延伸しました。 立川線は、計画どおり調査・設計を実施しました。令和7年度も、引き続き調査・設計を進めていきます。 和泉淀橋線は、健全度調査結果を踏まえ、鋼管部は健全であることを確認しました。一方で、初期ダクタイル管部は更新が必要なことから、令和7年度も、引き続き調査・設計を進めていきます。 城北線（上流部）は、健全度調査を計画どおり実施し、健全であることを確認したため更新時期を見直しました。令和7年度以降は、経過観察していきます。 砧上線は、過年度に延伸した工程どおり健全度調査を実施し、健全であることを確認しました。今後は、耐震継手化状況などを考慮し、更新に向けて調査・設計を進めていくこととしています。
	立川線	見込	健全度調査	調査・設計		(延伸)	調査・設計を実施	
	和泉淀橋線		健全度調査	調査・設計			調査・設計を実施	
	城北線（上流部）	実績		健全度調査	調査・設計		健全度調査を実施	
	砧上線	実績	健全度調査		健全度調査（完了）	経過観察	健全度調査を実施	
			試掘・事前調査（延伸）		健全度調査（完了）			

（注）計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

(4) 施設の適切な管理と長寿命化

目指す将来像

- コンクリート構造物の予防保全型管理により、施設の長寿命化や更新の平準化が図られ、年間事業費を抑制しつつ、長期に及ぶ更新工事を計画的に推進しています。
- 大規模な震災が発生しても、水道施設の被害は最小限に抑えられ、災害時に必要な水を確保しています。

令和6年度の主な取組

予防保全型管理(※1)



▲ひび割れ等の損傷状況についての調査



▲コンクリート構造物の供試体の採取

○給水所等において、コンクリート構造物の供試体を採取し、コンクリートの強度や中性化(※2)の進行状況を調査しました。また、中性化によりコンクリートの劣化が進行している一部の施設を対象に補修を実施しました。

※1 予防保全型管理…点検結果等に基づき、施設の劣化や損傷が進行する前に適切な維持管理、修繕、補修・補強等を計画的に講じる管理手法

※2 中性化…CO₂がコンクリート内に侵入してセメント水和物と炭酸化反応を起こし、空隙中の水分のpHを低下させる現象

施設の耐震化

＜沈殿池の耐震化例＞

(補強前)



(補強後(コンクリートの増打ち))

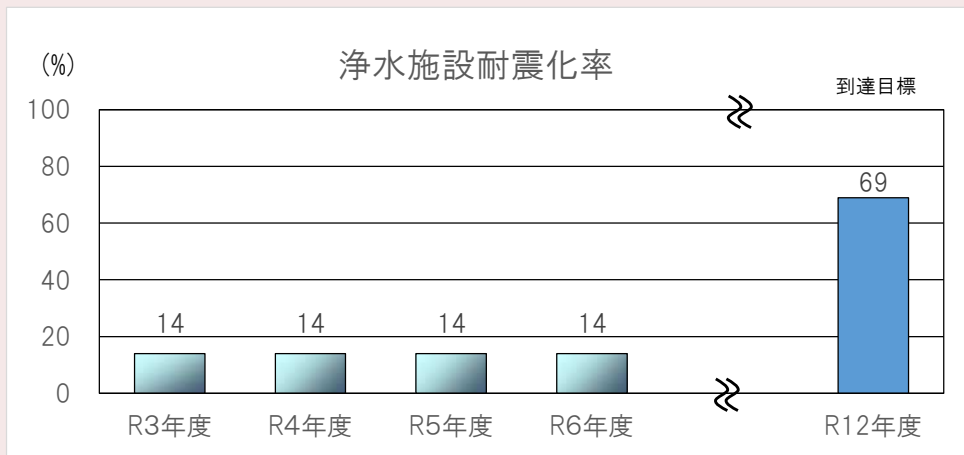


▲沈殿池耐震化工事を実施(東村山浄水場)



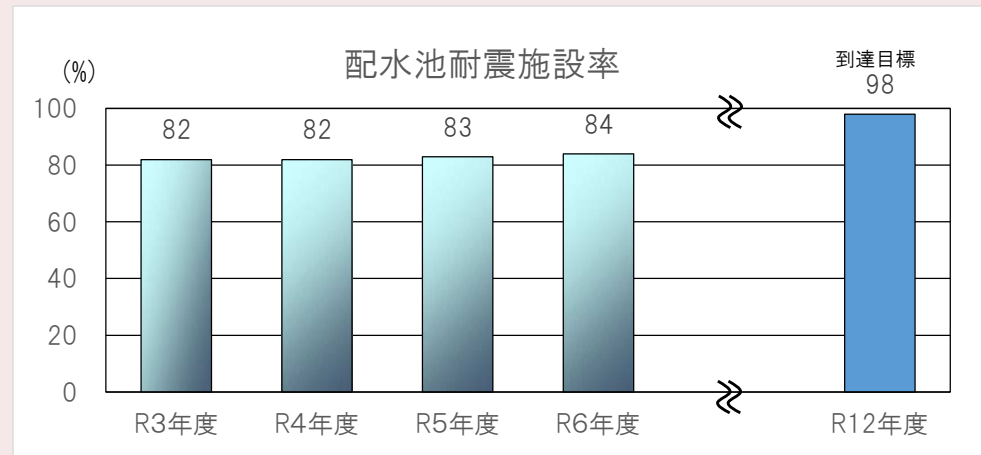
▲施工中の配水池の内部の様子(石畑給水所)
石畑給水所では、現在、計画どおり配水池の耐震化の工事を行っています。

整備目標の達成状況



指標の説明: 着水井から配水池までの浄水施設を耐震化した割合

整備目標の達成状況



指標の説明: 浄水場や給水所などの配水池を耐震化した割合

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
浄水場	点検	実施					-	浄水場では、中性化の進行が確認された一部の施設の補修を実施しました。引き続き、調査結果を踏まえて、適宜補修を行っていきます。
	補修	調査・設計	順次実施				補修を実施	
給水所・多摩地区	点検	実施	(11年度まで)				配水池等の初期点検を実施	コンクリートの供試体を採取し、コンクリートの強度や中性化の進行状況を調査しました。引き続き、点検・補修を進めていきます。
	補修	調査・設計	順次実施				補修を実施	
浄水施設の耐震化	東村山浄水場	施工 (完了)					-	砧浄水場は、令和6年度に発注した工事が契約不調となったため、他工事との調整を行い、施工時期そのものを見直しました。 三園浄水場は、急速かくはん池の準備工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、この準備工事の追加により、完了時期の延伸を見込んでいます。 金町浄水場は、過年度に延伸した工程どおり沈殿池の工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 三郷浄水場は、沈殿池の工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 朝霞浄水場は、過年度に延伸した工程どおり沈殿池の工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
	砧浄水場 見込		調査・設計	施工 (完了)			耐震化工事を発注 (契約不調)	
	三園浄水場 見込			調査・設計	施工 (完了)		急速かくはん池の 準備工事を実施	
	金町浄水場 見込	調査・設計		施工			沈殿池等の工事を 実施	
		調査・設計		(延伸)	施工			
	三郷浄水場	施工					沈殿池等の工事を 実施	
	朝霞浄水場 見込	調査・設計		施工			沈殿池等の工事を 実施	
		調査・設計		(延伸)	施工			

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
配水池の耐震化	聖ヶ丘給水所	実績	施工 (完了)				整備を完了	聖ヶ丘給水所は、過年度に延伸した工程どおり整備を完了しました。
			施工 (延伸) (完了)					
	石畑給水所		調査・設計	施工 (8年度完了)			耐震補強工事を実施	石畑給水所は、計画どおり耐震補強工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
	金町浄水場	見込	調査・設計	施工 (8年度完了)			耐震補強工事を実施	金町浄水場は、過年度に延伸した工程どおり工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計	(延伸)	施工			
	大蔵給水所	見込	調査・設計	施工 (8年度完了)			実施設計を実施	大蔵給水所は、整備内容の追加に伴い、調査・設計期間を延伸しました。令和7年度も、引き続き調査・設計を進めていきます。
			調査・設計	(延伸)				
	本郷給水所	見込	調査・設計	施工 (9年度完了)			耐震補強工事を実施	本郷給水所は、過年度に延伸した工程どおり工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、整備内容の追加により、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計	(延伸)	施工			
	水元給水所	見込	施工 (10年度完了)				耐震補強工事を実施	水元給水所は、計画どおり工事を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、補修工事の追加等により、完了時期の延伸を見込んでいます。
			施工					

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
配水池の耐震化	芝久保給水所	見込	調査・設計	施工	(完了)		耐震補強工事を実施	芝久保給水所は、計画どおり工事を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計	施工				
	南大沢給水所	実績	調査・設計	施工	(完了)		-	東浅川給水所は、計画どおり実施設計を完了させ、工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計(完了)					
	東浅川給水所	見込	調査・設計		施工(8年度完了)		実施設計及び耐震補強工事を実施	南野給水所は、計画どおり実施設計を完了させ、工事に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計		施工			
	南野給水所	見込		調査・設計	施工(8年度完了)		実施設計及び耐震補強工事を実施	高月給水所は、設計内容の見直しにより、調査・設計期間を延伸しました。
				調査・設計	施工			
	高月給水所	見込		調査・設計	施工(9年度完了)		実施設計を実施	国分寺北町給水所は、計画どおり調査・設計を実施しましたが、設計内容の見直しにより、調査・設計期間を延伸しました。
				調査・設計	(延伸)			
	国分寺北町給水所	見込			調査・設計		調査を実施	
					調査・設計(延伸)			

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

(5) 大規模浄水場の更新

目指す将来像

- 浄水場の更新が計画的に行われています。
- 将来の水道需要の動向等を見据え、施設能力を適宜見直しながら更新しています。

令和6年度の主な取組

大規模浄水場の更新・需要に合わせた適切な施設整備



▲工事着手前の境浄水場



▲境浄水場再構築後のイメージ

(注) このパースはイメージであり、今後変更される場合があります



▲工事中の境浄水場 送配水ポンプ所・高度浄水施設の土留及び土工事を実施しています。



計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
大規模浄水場の更新・需要に 合わせた適切な施設整備	境浄水場再構築	施工					本体工事を実施	境浄水場再構築は、計画どおり本体工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 上流部浄水場（仮称）は、計画どおり調査・設計を実施しました。令和7年度は、工事を進めていくこととしています。
	上流部浄水場 （仮称）	調査・設計 施工					浄水場整備に向けた実施設計を実施	

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

(6) 給水所の新設・拡充・更新

目指す将来像

○ 給水所の配水池容量の偏在解消に向けて、給水所の整備が着実に推進され、地域の給水安定性が向上しています。

令和6年度の主な取組

給水所の新設・拡充・更新



▲和田堀給水所
配水池及びポンプ棟築造状況



▲王子給水所(仮称)
配水池築造状況

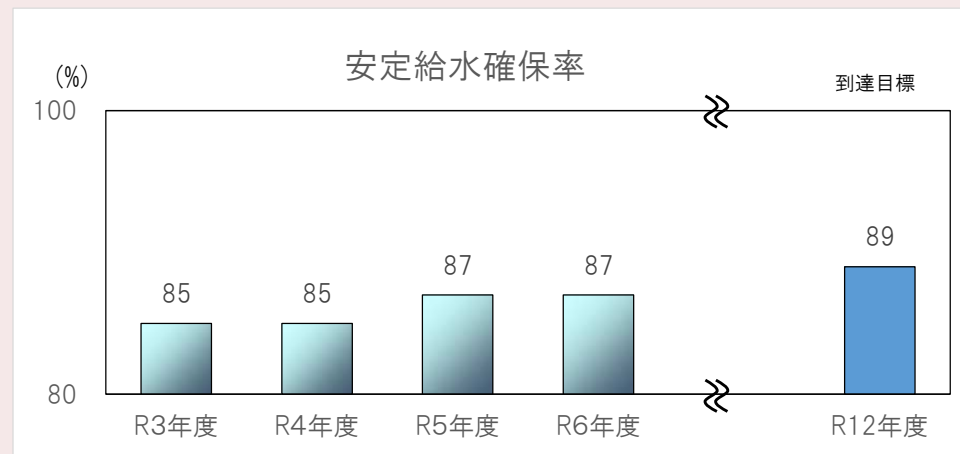


▲深大寺給水所
配水池築造状況



▲柴崎給水所
配水池築造状況

整備目標の達成状況



指標の説明: 配水区域をもつ浄水場や給水所などにおいて、配水池により、目標の水量（計画一日最大配水量の12時間相当）を確保した割合

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価	
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
給 水 所 の 新 設	上北沢給水所(※1)	施工 (完成)					—	王子給水所(仮称)は、計画どおり築造工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 新玉川給水所(仮称)は、計画どおり基本設計及び既存施設撤去工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 代々木給水所(仮称)は、施工方法等の検討に時間を要したことから、調査・設計期間を延伸しました。	
	王子給水所(仮称)	施工					配水池築造工事を 実施		
	新玉川給水所(仮称)	見込	調査・設計		施工		基本設計及び 既存施設撤去工事を 実施		
			調査・設計	(前倒し)	施工				
	代々木給水所(仮称)	見込	調査・設計			施工			基本設計を実施
			調査・設計			(延伸)			
清瀬梅園給水所(※2)		施工 (完成)					—		

※1 上北沢給水所(仮称)の名称は、上北沢給水所に決定しました。
※2 多摩北部給水所(仮称)の名称は、清瀬梅園給水所に決定しました。
(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
給水所の 拡充	和田堀給水所	施工					配水池築造工事等を実施	和田堀給水所は、計画どおり配水池築造工事等を実施しました。令和7年度も、引き続き、工事を進めていきます。
	幸町給水所	施工(完了)					-	
	柴崎給水所	実績 施工	(延伸)				-	柴崎給水所、深大寺給水所、小野路給水所及び福生武蔵野台給水所は、計画どおり配水池築造工事等を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
	見込	施工			(9年度完了)		配水池築造工事等を実施	
	深大寺給水所	見込	施工		(10年度完了)		配水池築造工事等を実施	根ヶ布給水所は、現場状況を踏まえた施工方法の検討に時間を要し、調査・設計期間を延伸しました。令和7年度は工事を進めていくこととしています。
	小野路給水所	見込	調査・設計	施工	(10年度完了)		配水池築造工事等を実施	
	福生武蔵野台給水所	見込	調査・設計	施工	(10年度完了)		配水池築造工事等を実施	若松給水所は、過年度に延伸した工程どおり実施設計を完了させ、配水池築造工事等に着手し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、工程の見直しにより、完了時期の延伸を見込んでいます。
	根ヶ布給水所	見込	調査・設計	調査・設計	施工(10年度完了)		実施設計を実施	
	若松給水所	見込	調査・設計	調査・設計	施工(11年度完了)		実施設計及び配水池築造工事等を実施	愛宕配水所は、更新方法等の検討に時間を要しているため、調査・設計開始時期そのものを見直しました。
	愛宕配水所	見込			調査・設計		-	
給水所の 更新	その他 配水所(配水池容量10,000m ³ 未満)	見込	調査・設計	施工			調査・設計を実施	その他配水所は用地取得等に時間を要しており、調査・設計期間を延伸しました。
	給水所・配水所(配水池容量10,000m ³ 未満)	見込	調査・設計	施工			調査・設計を実施	

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

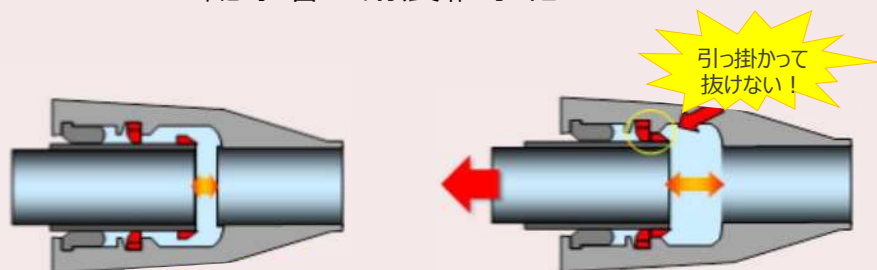
(7) 管路の更新・適正管理

目指す将来像

○大規模な震災が発生しても被害が最小限に抑えられるよう、配水管や給水管などの耐震性が向上し、計画的に維持管理されています。

令和6年度の主な取組

配水管の耐震継手化



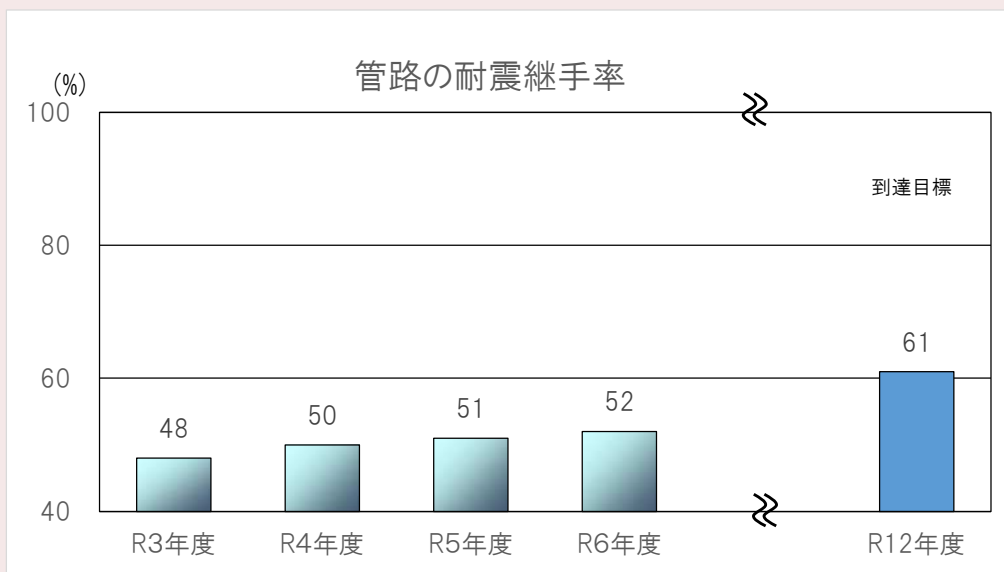
▲配水管の耐震継手管の構造(イメージ)
継ぎ手部分に抜け出し防止機能を持つ「耐震継手管」に取り替えています。

(参考)



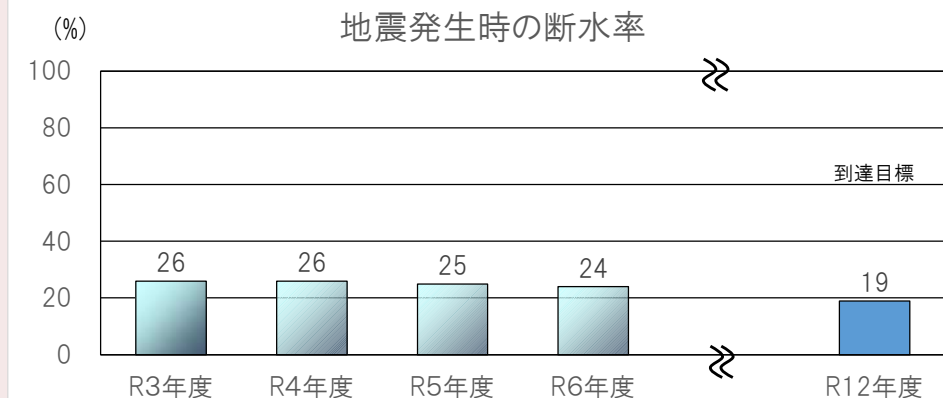
▲耐震継手管のつり下げのデモンストレーション

整備目標の達成状況



指標の説明: 配水管における耐震継手管の割合

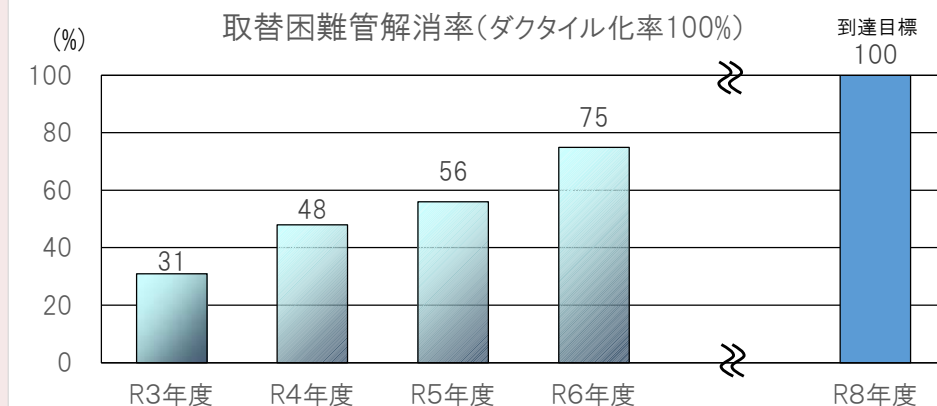
整備目標の達成状況



指標の説明：都心南部直下地震が発生した場合に断水が想定される給水人口の割合

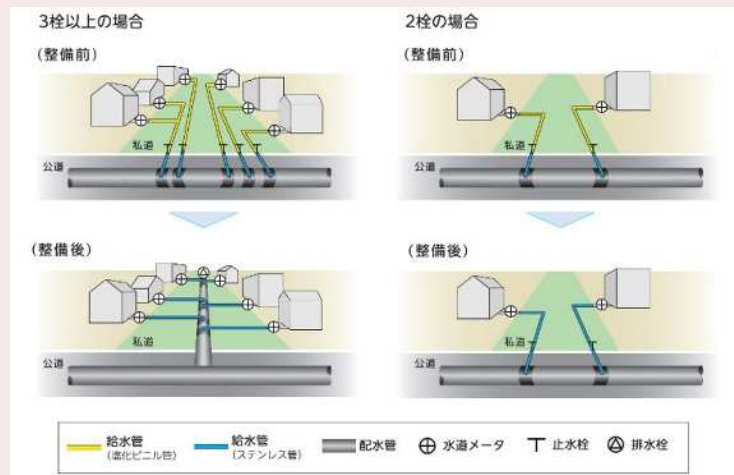
(注)令和4年5月に公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」において、断水率が最大と想定される都心南部直下地震が発生した場合の目標と実績に見直しを行いました。

整備目標の達成状況



指標の説明：取替困難管の延長に占める取替困難管を解消した延長割合

私道内給水管整備



▲私道内給水管の耐震化イメージ
水圧確保や漏水の未然防止の観点から、私道の所有者から承諾を得て、耐震性能を有する配水管の布設や給水管のステンレス化を進めています。

長期不使用給水管への対応



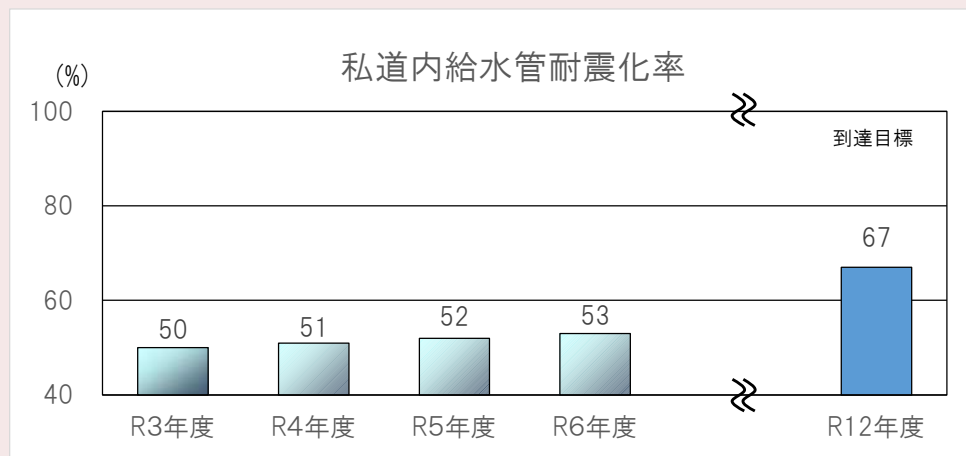
▲給水管撤去前



▲給水管撤去後

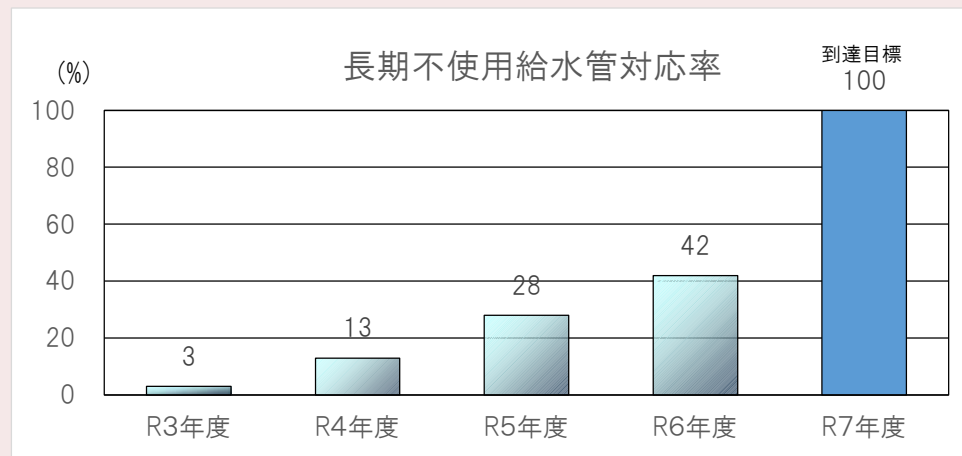
漏水リスクを回避し、給水環境の適正化を図っていく観点から、使用見込みのない給水管について、お客さまから同意が得られた場合に撤去を進めています。

整備目標の達成状況



指標の説明: 私道に布設された給水管を耐震化した割合

整備目標の達成状況



指標の説明: 対応が必要となる長期不使用給水管を撤去した割合

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
配水管の耐震継手化	耐震継手化・更新	施工（約3,500km/10年間）					約408km	管路の耐震継手化・更新は、おおむね計画どおりに実施しました。 令和7年度も、引き続き、関係者との綿密な調整を継続的に行うとともに、施工環境に合わせた工法を採用する等、様々な工夫を実施し、着実に目標の達成を目指していきます。
	取替困難管（ダクタイル化率100%）	施工（8年度完了）					約3km	
	重要施設への供給ルート（避難所、主要な駅）	施工（完了）					-	
	取替優先地域	施工（10年度完了）					約32km	
私道内給水管整備	私道内給水管整備	施工（470km/10年間）					約33km	私道内給水管整備は、これまでの整備の結果、令和6年度末で私道内給水管耐震化率53%に到達しました。 令和7年度も、引き続き、工事の計画的発注や、お客さまへ事業内容、効果をより一層丁寧に説明することで理解を得ながら、目標の達成を目指していきます。
長期不使用給水管への対応	長期不使用給水管の撤去	施工（14,400件/5年間）					1,419件	長期不使用給水管の撤去は、お客さまから同意が得られた給水管について順次実施し、長期不使用給水管対応率42%となりました。 令和7年度も、引き続き、お客さまへの丁寧な説明や事業PR等に取り組むことで、目標の達成を目指していきます。

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

（８）多摩地区水道の強靱化

目指す将来像

- 地形や高低差などを考慮した適切な配水区域への再編や既存施設の統廃合が進み、地域特性に応じた効率的な施設管理が行われています。
- 送水管ネットワークの構築や、既設送水管の更新が進み、給水の安定性が向上しています。

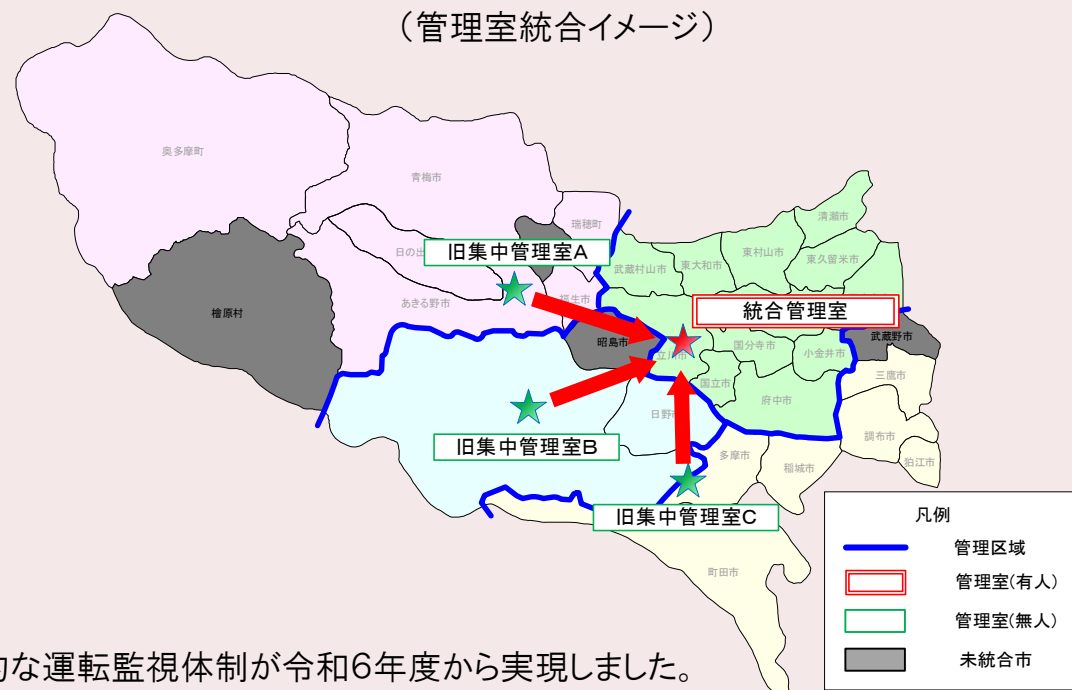
令和6年度の主な取組

多摩地区水道の強靱化 （運転監視機能の統合（管理室の統合））

（統合管理室）

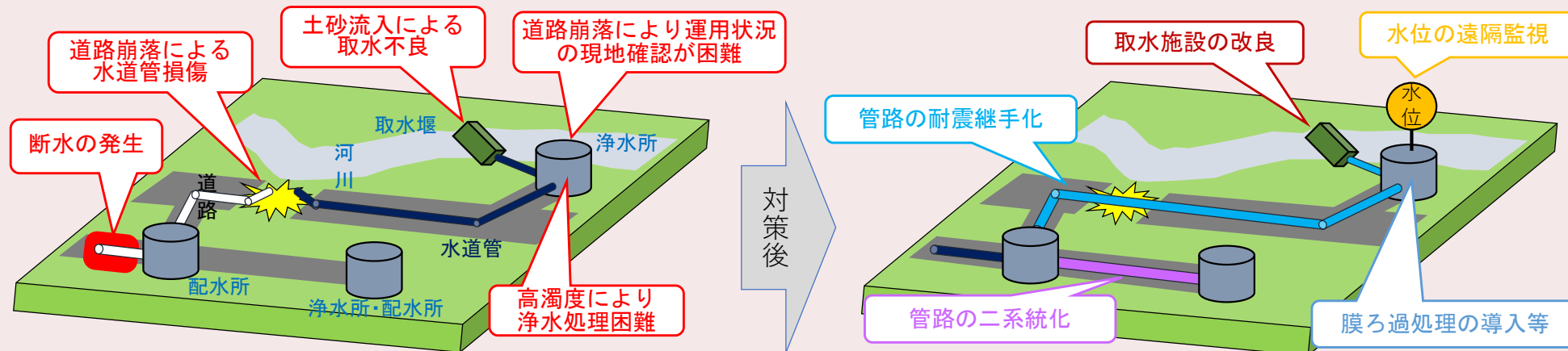


（管理室統合イメージ）



▲運転監視機能を1箇所に統合し、効率的な運転監視体制が令和6年度から実現しました。

多摩地区水道の強靱化



▲多摩地区における風水害対策(イメージ)

多摩地区水道の強靱化に向けて、取水施設の改良や管路の耐震継手化等を実施しています。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価	
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
多摩地区水道の強靱化（浄水処理（膜ろ過設備）の導入）	千ヶ瀬浄水所	実績	施工（完了）			-	日原浄水所は、工事が再度契約不調となったことにより、調査・設計期間を延伸したことから、完了時期の延伸を見込んでいます。 高月浄水所は、設計に必要な水処理実験に伴う工事が不調となったことにより、調査・設計期間を延伸したことから、完了時期の延伸を見込んでいます。		
			施工（完了）						
	日原浄水所	見込	調査・設計	施工（8年度完了）				実施設計を実施	
			調査・設計	（延伸）					
	高月浄水所	見込		調査・設計	施工（12年度完了）			調査・設計を実施	
				調査・設計	（延伸）				

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
多摩地区水道の強靱化 (風水害対策)	取水施設の改良	施工	(完了)				-	導水管の取替えは、計画どおり工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 送水管の二系統化は、計画どおり実施設計及び工事を実施しましたが、設計内容の見直しにより、完成時期の延伸を見込んでいます。
	導水管の取替え	施工			(12年度完了)		工事を実施	
	送水管の二系統化	調査・設計	施工		(12年度完成)		実施設計及び工事を実施	
	見込	調査・設計	施工					

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
多摩地区水道の強靱化(運転監視機能の統合(管理室の統合))	統合監視操作設備設置工事							計画どおり管理室の統合に必要な工事が完了したことにより、運転監視機能が1箇所へ統合され、効率的な運転監視体制が実現しました。
	統合管理室	施工					工事完了	
	秋留台集中管理室	施工		統合	統合		工事完了	
	山王下集中管理室	施工		統合			工事完了	
	元本郷集中管理室	施工		統合			工事完了	

(注) 3か所の集中管理室は、統合後も、統合管理室使用不能時のバックアップとして活用するため存続

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

第2 様々な脅威への備え

(9) 災害対策

目指す将来像

- 震災などの自然災害が発生しても、被害が最小限に抑えられるよう、水道施設が耐震化されているとともに、バックアップ機能が確保されています。
- 震災などによる大規模な停電時においても安定的に給水が確保できるよう、電力の自立化が進められています。
- 施設の更新に合わせて浄水施設の覆蓋化が行われており、火山降灰に対する対策が講じられています。

令和6年度の主な取組

貯水池及び取水・導水施設の耐震化



▲朝霞浄水場
沈砂池耐震補強工事を実施しています。

浄水施設の覆蓋化

(整備前)



(整備後(降灰時))



▲シート型による沈殿池の覆蓋化(長沢浄水場)
覆蓋化の工事が完了しました。

自家用発電設備の新設・増強



▲石畑増圧ポンプ所(非常用発電設備)
非常用発電設備を整備しました。



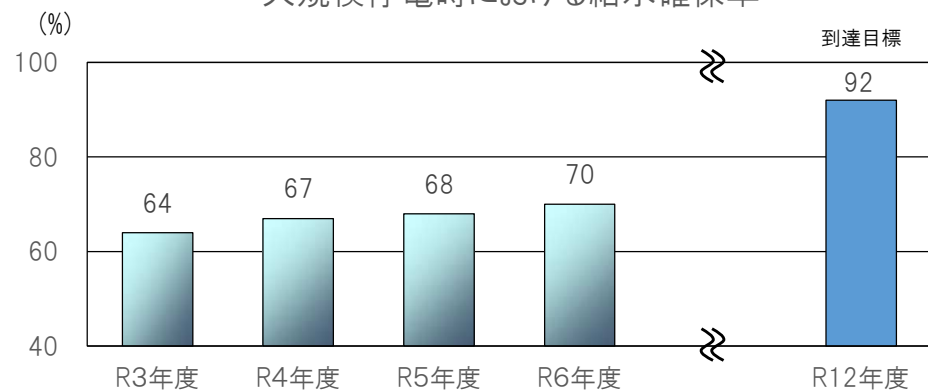
▲北野増圧ポンプ所(非常用発電設備)
非常用発電設備を整備しました。



▲上北沢給水所(非常用発電設備)
非常用発電設備を整備しました。

整備目標の達成状況

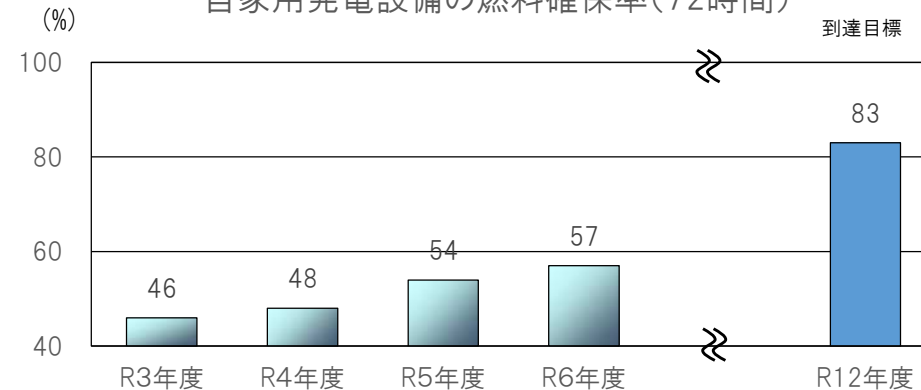
大規模停電時における給水確保率



指標の説明: 給水目標量(計画一日平均配水量)に対して、停電時において自家用発電設備の稼働により供給が可能となる給水確保量(配水量)の割合

整備目標の達成状況

自家用発電設備の燃料確保率(72時間)



指標の説明: 自家用発電設備が72時間稼働するために必要な燃料を確保している割合

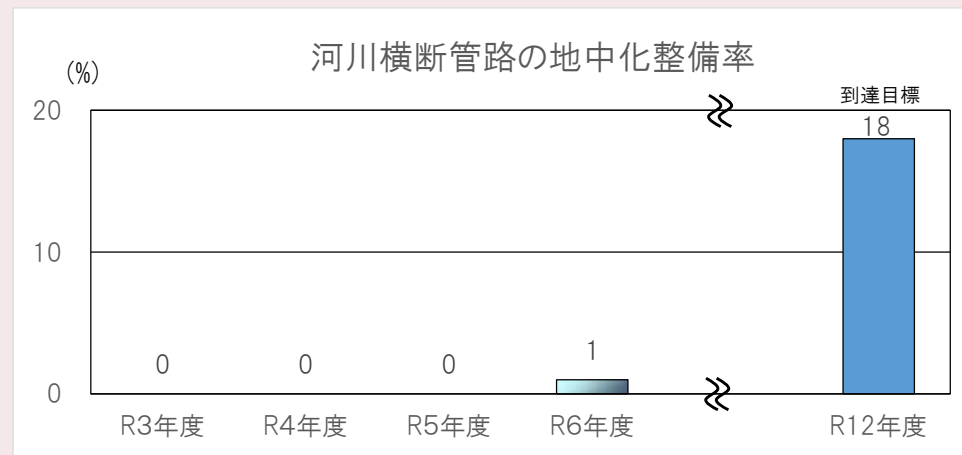
河川横断管路の地中化



▲川口川に架かる水管橋(※) (φ600)
の地中化を実施しました。

※ 水管橋…河川等を横断するときに設ける管路専用の橋

整備目標の達成状況



指標の説明: 優先的に整備する水管橋等を地中化した割合

※ 施工中の案件について、令和6年度以降、順次整備完了

計画・実績・評価

事項			計画					6年度の実績	評価
			3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
貯水池及び取水・導水施設の耐震化	堤体強化の貯水池	村山上貯水池	施工		(完了)			-	羽村取水堰は、関係機関との協議により、令和元年度の台風第19号による被害の復旧工事を優先して実施することになったため、施工時期そのものを令和9年度以降に見直しています。
	取水施設の耐震化	三郷浄水場（沈砂池）	施工	(完了)				-	
		羽村取水堰 見込			調査・設計	施工 (完了)		-	朝霞浄水場沈砂池は、計画どおり耐震補強工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
		朝霞浄水場（沈砂池）	施工				(完了)	沈砂池耐震補強工事を実施	
		金町浄水場（取水塔） 見込	調査・設計		施工	(10年度完了)		耐震化工事を発注（第3取水塔）	金町浄水場（取水塔）は、第3取水塔の耐震化工事を発注しており、令和7年度は、工事を進めていくこととしています。
			調査・設計		施工				
	導水施設の耐震化	利根導水路大規模地震対策事業（（独）水資源機構）	施工	(完了)				-	三郷浄水場（導水路）は、計画どおり工事に着手しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。
		三郷浄水場（導水路）			調査・設計	施工 (完了)		導水路の工事を実施	
		金町浄水場（引入管） 見込	調査・設計		施工	(8年度完了)		耐震化工事を発注	金町浄水場（引入管）は、耐震化工事を発注しており、令和7年度は、工事を進めていくこととしていますが、他工事との調整により、完了時期の延伸を見込んでいます。
			調査・設計		施工				

（注）計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価	
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
浄水施設の 覆蓋化	境浄水場再構築	施工					本体工事を実施	境浄水場再構築は、計画どおり本体工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。	
	上流部浄水場（仮称）	調査・設計 施工					浄水場整備に向けた実施設計を実施	上流部浄水場（仮称）は、計画どおり調査・設計を実施しました。令和7年度は、工事を進めていくこととしています。	
	千ヶ瀬浄水所	実績	施工 施工					－	日原浄水所は、工事が再度契約不調となったことにより、調査・設計期間を延伸したことから、完了時期の延伸を見込んでいます。
	日原浄水所	見込	調査・設計 調査・設計					実施設計を実施	高月浄水所は、設計に必要な水処理実験に伴う工事が不調となったことにより、調査・設計期間を延伸したことから、完了時期の延伸を見込んでいます。
	高月浄水所	見込	調査・設計 調査・設計					調査・設計を実施	長沢浄水場において、計画どおり沈殿池覆蓋化工事を完了しました。
シート型による浄水場沈殿池の覆蓋化	実績	調査・設計 調査・設計					長沢浄水場において覆蓋化を完了		

（注）計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
自家用発電設備の増強 (常用発電設備)	三郷浄水場	実績	施工 (完了)				-	朝霞浄水場及び金町浄水場は、工事を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、試運転の工程見直し等により、完了時期の延伸を見込んでいます。 三園浄水場及び東村山浄水場は、常用発電設備に代わり、瞬時電圧低下補償装置※を新たに導入することとし、これに伴い、完了時期を延伸しました。
			施工 (延伸)(完了)					
	朝霞浄水場	見込	調査・設計	施工 (完了)		用地造成工事を実施		
			調査・設計 (延伸)	施工 (延伸)				
	三園浄水場	見込	調査・設計	施工 (完了)		実施設計を実施		
			調査・設計 (延伸)	施工 (9年度完了)				
	東村山浄水場	見込	調査・設計	施工 (完了)		実施設計を実施		
			調査・設計 (延伸)					
	金町浄水場	見込	調査・設計	施工 (完了)		既存施設撤去工事を実施		
			調査・設計 (延伸)	施工 (延伸)				

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。
※瞬時電圧低下補償装置：平常時に商用電源から蓄電池を充電しておき、停電時に瞬時に蓄電池から一定時間電力を供給する装置。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
自家用発電設備の新設・増強 (非常用発電設備)	朝霞浄水場	見込 調査・設計	施工 (完了)				発電設備工事を実施	朝霞浄水場は、発電設備工事を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、施工方法の変更等により、完了時期の延伸を見込んでいます。 砧下浄水所は、計画どおり発電設備工事を実施しました。令和7年度も、引き続き工事を進めていきます。 上北沢給水所は、過年度に延伸した工程どおり整備を完了しました。 練馬給水所は、建築基準法に基づく追加手続が必要となったことにより、調査・設計期間を延伸しました。 板橋給水所は、過年度に延伸した工程どおり調査・設計を実施しました。令和7年度は、工事を進めていきます。 石畑増圧ポンプ所は、過年度に延伸した工程どおり整備を完了しました。 北野増圧ポンプ所は、計画どおり整備を完了しました。 その他(100kW未満)は、工事契約の不調等により、完了時期の延伸を見込んでいます。
		調査・設計	(延伸)	施工				
	砧下浄水所	調査・設計		施工 (完了)			発電設備工事を実施	
	上北沢給水所	実績		施工 (完了)			整備を完了	
				施工	(延伸) (完了)			
	練馬給水所	見込	調査・設計	施工 (完了)			実施設計を実施	
			調査・設計	(延伸)				
	板橋給水所	見込	調査・設計	施工 (完了)			実施設計を実施	
			調査・設計	(延伸)	施工 (9年度完了)			
	清瀬梅園給水所		施工 (完了)				-	
	美住増圧ポンプ所 (※)		施工 (完了)				-	
	石畑増圧ポンプ所	実績		施工 (完了)			整備を完了	
				施工	(延伸) (完了)			
	北野増圧ポンプ所		調査・設計	施工 (完了)			整備を完了	
	その他 (100kW未満)	見込	施工				発電設備工事等を実施	
			(延伸)					

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

※ 美住ポンプ所(仮称)の名称は、美住増圧ポンプ所に決定しました。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
河川横断管路の地中化	優先的に整備 (14か所/10年)	調査・設計		施工			設計及び工事を実施	優先的な整備については、計画どおり設計及び工事を実施し、1か所で整備が完了しました。令和7年度も、引き続き設計及び工事を進めていきます。
	耐震継手化に合わせて整備 (6か所/10年)	調査・設計		施工			工事を実施	耐震継手化に合わせた整備については、令和6年度までに5か所の整備が完了しました。令和7年度以降も、引き続き耐震継手化工事に合わせて、着実な整備を進めていきます。

I 強靱で持続可能な水道システムの構築

第3 新技術の活用

(10) 新技術を活用した水道システムの構築

目指す将来像

- スマートメータ導入に向けた効果検証を行い課題を解決し、全戸導入に向けて着実に取組が進んでいます。
- 水道施設にAIやICTなどデジタル技術を導入することで、業務の効率化が進んでいます。

令和6年度の主な取組

スマートメータの導入



▲令和6年度までに約13万個の給水スマートメータを設置しました。

水道局事業への新技術の導入



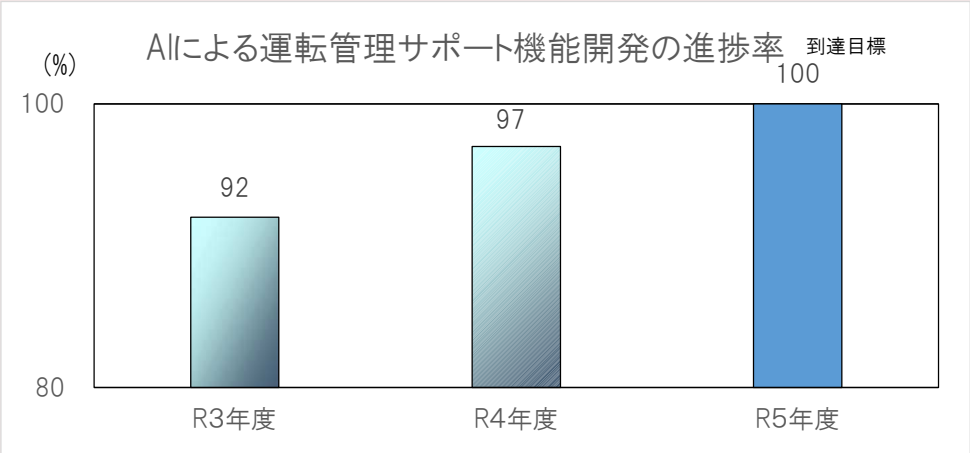
▲ドローンによる画像撮影時の様子
コンクリート構造物の点検に際し、ドローンで撮影した構造物壁面の画像を解析し、ひび割れ等の損傷状況を調査しました。

水道局事業への新技術の導入



▲ICT施工の実施状況
村山上貯水池堤体強化において、ICT建設機械を活用した強化盛土の盛り立てを実施しました。

整備目標の達成状況



指標の説明：浄水処理における薬品注入監視をAIによりサポートする機能の開発状況

計画・実績・評価

事項			計画					6年度の実績	評価
			3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
スマートメータの導入	給水スマートメータ			●自動検針開始			約4万2千個設置 (3か年で合計約13万個設置)	給水スマートメータは、令和6年度末までに計画していた個数の約13万個を設置しました。自動検針等を安定的に運用しています。 流量計は、令和6年度末までに計画していた個数を設置しました。水圧計も含め、安定的に運用しています。 運用を通じて収集したデータを蓄積、分析しています。引き続き、詳細な効果検証に取り組んでいきます。	
			メータ発注 順次開始	先行導入 (約13万個、都内全域)					
	配水小管 スマートメータ	水圧計	製作 設置				水圧監視を実施		
		流量計	プロトタイプ 製作 フィールド 検証 仕様決定	製作・設置					10個設置 (3か年で合計33個設置)
効果検証			効果検証			収集したデータを蓄積、分析			

計画・実績・評価

事項			計画					6年度の実績	評価
			3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
水道局事業への新技術の導入	高塩基度PACの導入		順次導入					高塩基度PACの導入効果について検証	高塩基度PACは、計画どおり令和5年度までに浄水場4か所（東村山、三園、朝霞及び金町）に導入しました。令和6年度は、運用を通じて、処理性などの検証を行いました。令和7年度は、他の浄水場への導入に向けた検証を行います。
	高分子凝集剤の導入（上流部浄水場（仮称））		調査・設計 ※ 計画は、上流部浄水場（仮称）の整備を示しております。					上流部浄水場（仮称）の設計に併せ、水処理実験を実施	
	AIを活用した 運転管理	三園浄水場	施行（完了）					-	高分子凝集剤の導入については、計画どおり水処理実験を実施し、沈殿速度の向上を確認しました。令和7年度は、この結果を踏まえ、導入に向けた検討を進めるとともに、上流部浄水場（仮称）の工事を進めていくこととしています。
		その他の浄水場	施行					朝霞浄水場において導入に向けた工事を実施	
	ドローンによる監視・点検		順次実施					コンクリート構造物の点検でドローンを活用	ドローンで撮影したデジタル画像を解析することで、従来の作業員による目視点検と同等に、コンクリート構造物のひび割れ等の状況を評価できました。今後もコンクリート構造物の点検において、ドローンを活用し、点検を効率的に実施していきます。
	デジタル技術を活用した工事		村山上貯水池			順次導入		遠隔臨場の試行要領を策定	

Ⅱ お客さまとつながり、信頼される水道の実現

第4 双方向コミュニケーション

(11) お客さまとの双方向コミュニケーション

目指す将来像

- お客さまの水道事業に対する理解が深まっています。
- お客さまの声の分析を通して、お客さまニーズを的確に事業運営に反映しています。

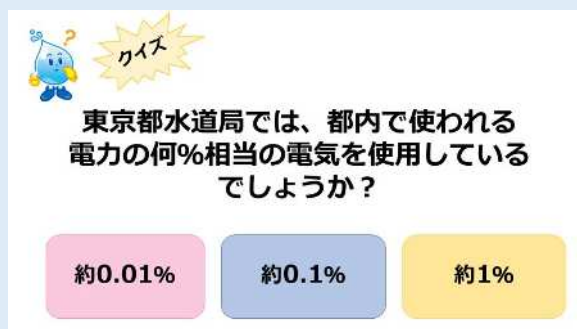
令和6年度の主な取組

水道サポーター制度

- お客さまと当局職員が対話する双方向コミュニケーションを通じて、お客さまの意見を事業運営に反映させるため、水道サポーター制度を実施しました。



- ▲ 交流会開催の様子
オンライン形式と対面形式により、震災対策をテーマとして14地域において、また、環境施策をテーマとして3回の交流会を開催しました。
約246名が水道サポーターに登録しました。



- ▲ 交流を促進するため実施したクイズ
水道管の耐震化や施設の災害対策等をテーマとした「震災対策」、また、水道局の環境への取組をテーマとした「環境施策」について、サポーターと局職員との意見交換を実施しました。



- ▲ 交流会でいただいた御意見
「HPの災害時給水ステーションのページについて、情報量が多すぎて分かりにくい」、「環境への取組について、SNSを活用して広報してほしい」等の御意見を222件いただきました。



▲水道局アプリ「災害時給水ステーション検索」機能

お客さまの声の事業への反映

- お客さまの中から無作為に抽出した7,000世帯及び4,000事業所を対象に、東京の水道に関するお客さま意識調査(アンケート)を実施しました。アンケートの結果、災害時給水ステーションの認知度は54%を超えているものの、「自宅又は勤務先の最寄りの具体的な場所も知っている」方は15%にとどまりました。この結果を踏まえ、災害時給水ステーションや耐震化工事の状況など、より多くのお客さまの安心や備えにつながる情報について、多様な媒体(X(旧Twitter)、アプリ、イベント、WEB広告、電車内広告)を活用して広報を行うこととしました。
- 水道サポーター制度では、水道管の耐震化について「工事について具体的な内容をSNSでも伝えてほしい」、水道水源林動画について「水道水源林管理が分かる動画を見たい」等の御意見があったことから、地震に強い「耐震継手管」を採用して、耐震性の強化を図っていることをXへ複数回投稿、職員の日々の管理や取組が身近に感じられる解説動画の作成・公開等、お客さまへ分かりやすく伝えるようにしました。



▲水道キャラバン



▲水道キャラバンホームページ
(<https://www.suido-caravan.metro.tokyo.lg.jp/>)

多様な広報施策の展開

- 小学4年生を対象に水道水ができるまでの仕組みや、水道水源林の役割等への理解を深め、水を大切にする気持ちを高めてもらうことを目的として、映像や実験など、分かりやすく親しみやすい手法を用いた出前授業「水道キャラバン」を実施しました。
 - 小学2年生から6年生を対象に、水道キャラバン夏休み自由研究イベントを開催しました。「水について楽しく学び、驚き感動する、発見する」をコンセプトに、水の実験やクイズを通じて楽しく学びました。
- イベント開催後には、ホームページにアーカイブ映像を公開しました。



◀ 水道キャラバン2024
夏休み自由研究イベント募集チラシ
(令和6年8月10日(土曜日)開催)

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
水道サポーター制度	情報提供・意見交換 情報の地域等での浸透	試行	本格実施				オンライン、対面による交流会を実施 新たなテーマ(環境施策)による交流会を開催	水道サポーター制度は、対面による交流会と、熱中症対策及び交流会への参加のしやすさを踏まえたオンラインによる交流会を開催し、計画どおり実施しました。令和7年度も、引き続き、対面とオンライン開催による交流会を実施していきます。
	アンケートの実施、 水道サポーターの声など	集約・分析・事業運営への反映					東京の水道に関するお客さま意識調査のアンケート結果をホームページ掲載内容へ反映	お客さまの声については、集約・分析・事業への反映を着実に進めています。アンケートの設問に写真やイラストを使用する等、設問の内容が分かりやすく正確に伝わるよう工夫しました。
多様な広報施策の展開	学校水道キャラバン	約1,200校／年					1,154校	学校水道キャラバンは、令和3年度から累計4,742校で実施しました。令和7年度も、着実に目標の達成を目指していきます。
	水道なんでも相談	実施					63回	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から見合わせていましたが、令和5年度からイベント等において「水道なんでも相談」等の取組を再開しています。令和7年度も、引き続き、積極的に実施していきます。
	手洗い促進	約2,150校					—	

Ⅱ お客さまとつながり、信頼される水道の実現

第5 お客さまサービスの向上と業務の効率化

(12) デジタル化の促進によるお客さまサービスの向上と業務の効率化

目指す将来像

- スマートメータ導入に向けた効果検証を行い課題を解決し、全戸導入に向けて着実に取組が進んでいます。
- お客さまの手続きは、Webを基本としたサービスに切り替わっており、お客さまが、時間や場所にとらわれず、手続きや料金等の確認が完結するサービスが実現しています。
- 検針からお支払までのお客さまサービスや、給水装置工事の申請手続きなどのデジタル化が進み、ペーパーレス化やキャッシュレス化が図られています。

令和6年度の主な取組

東京都水道局アプリ(旧称:お客さま総合アプリ(仮称))の運用改善

- ▼各種申込手続き、料金の支払、情報閲覧等を一元的に受け付ける「東京都水道局アプリ」(iOS、Android、Webブラウザに対応)を安定的に運用するとともにユーザーの利便性向上のため機能の改善を実施
- ▼令和6年度末時点で、約217万人のお客さまがユーザー登録
- ▼アプリユーザーのうち、約97%のお客さまが、請求情報・検針票の電子配信を受け取っており、ペーパーレス化・キャッシュレス化に寄与

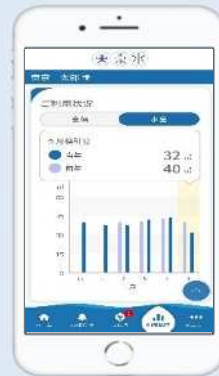
引越しの手続



スマホで水道料金のお支払



過去の利用履歴をグラフで確認



アプリアイコン



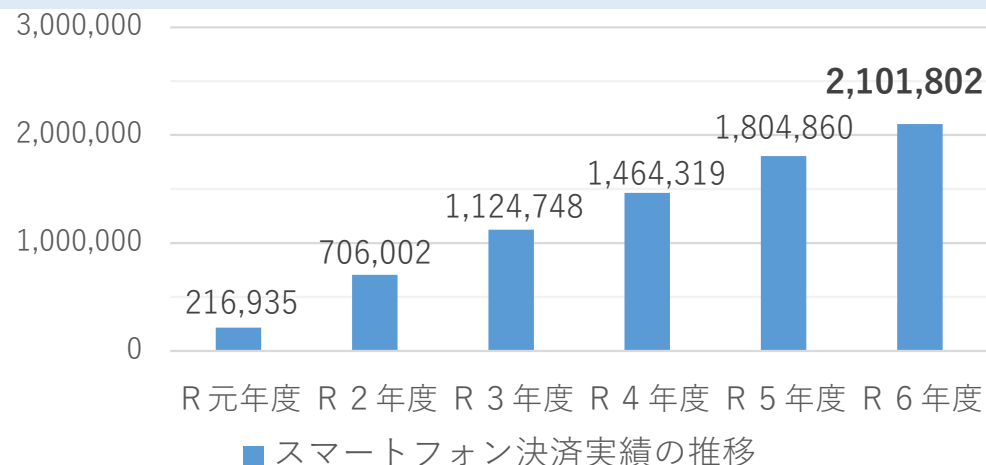
水道局HP(アプリ詳細)



キャッシュレスの促進

- スマートフォン決済を令和元年7月から導入
- 令和6年度実績は、年間約210万件

単位：件



ペーパーレスの促進

- 東京都水道局アプリでペーパーレス化を促進
- 令和6年度末時点でアプリユーザー登録数の約97%が請求情報・検針票の電子配信を選択
(令和6年度には計約1,073万件を電子配信)



【アプリで検針票を確認】

- ・検針票をアプリでペーパーレスで確認できます。
- ・検針票がアプリに配信されると、PUSH通知及びメール通知でお知らせが届きます。

給水装置工事の電子申請の利用促進



▲電子申請イメージ

指定事業者は、一部の工事を除き、インターネットから給水装置工事の申請を行うことができます。



▲窓口における操作説明イメージ

希望する指定事業者に対して、個別訪問や給水管工事事務所窓口での操作説明を実施しています。



▲キャッシュレス決済の導入イメージ

給水装置工事の申請手続きのデジタル化の一環として、手数料等の支払におけるキャッシュレス決済を導入しました。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
東京都水道局 アプリの導入	東京都水道局アプリ	設計・開発	サービスの提供			・東京都水道局アプリの改善 ・令和6年度末時点で約217万人が登録	東京都水道局アプリは、お客さまのニーズに柔軟かつスピーディーに対応するため、継続的に改善を行いました。	
キャッシュレスの 促進	キャッシュレス決済の拡大	拡大				スマートフォン決済 利用件数約210万件	キャッシュレス決済の拡大は、東京都水道局アプリにより、お客さまにとって、キャッシュレス決済が更に利用しやすくなりました。 令和6年度もアプリユーザーの拡大に伴いキャッシュレスを一層推進しました。	
ペーパーレスの 促進	請求情報の電子配信	配信	拡大			請求情報・検針票の電子配信 約1,073万件 （アプリユーザー登録数の97%）	請求情報の電子配信及び検針票のペーパーレスは、東京都水道局アプリにより、請求情報・検針票の電子配信が可能になりました。 令和6年度もアプリユーザーの拡大に伴いペーパーレスを一層推進しました。	
	検針票のペーパーレス	設計・開発	検針票のペーパーレス					
給水装置工事の 電子申請の利用促進	電子申請の利用促進	順次実施				個別訪問・窓口における操作説明（23者）	電子申請の利用促進は、指定事業者への個別訪問や給水管工事事務所窓口での操作説明を行いました。 また、手数料等の支払におけるキャッシュレス決済を導入しました。令和7年度も、引き続き、PR・利用促進策を実施していきます。	
	キャッシュレス決済の導入		システム改修等	導入		キャッシュレス決済の導入		

Ⅱ お客さまとつながり、信頼される水道の実現

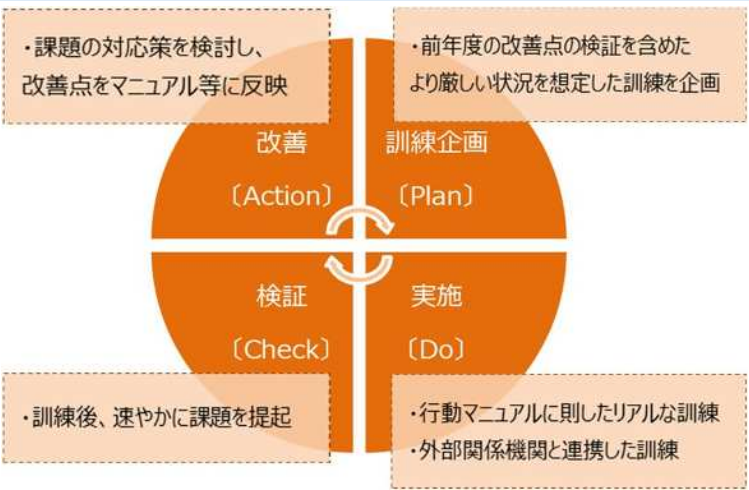
(13) 災害時の応急給水対策

目指す将来像

- 大規模な災害が発生した際にも、応急給水体制が確保されており、必要とする人・場所に十分な水が届けられています。
- 応急復旧に必要なスキルや経験を持つ水道工事事業者が十分に確保されています。

令和6年度の主な取組

応急給水体制の充実



▲訓練の実施結果を受け、各種マニュアルを改訂、次年度訓練計画を作成

令和6年度訓練実施結果	
局全体訓練	10回
多様な主体(区市町等)と連携した訓練	143回
各事業所で計画する訓練	147回
区市町が主催する防災訓練への参加	111回
その他	85回
計	496回

▲令和6年度は年間を通じて、496回の訓練を実施

水道工事関連団体との連携強化



▲団体が独自で行う訓練を補助

Ⅱ お客さまとつながり、信頼される水道の実現

第6 環境に配慮した事業運営

(14) 環境対策

目指す将来像

○効率的な事業運営を図りながら、CO₂排出量の削減や健全な水循環と豊かな緑の保全など、環境に配慮した事業運営が実現しています。

令和6年度の主な取組

CO₂排出量の削減



▲太陽光発電設備(上北沢給水所)
上北沢給水所に太陽光発電設備を整備しました。



▲小水力発電設備(東海給水所)
東海給水所に小水力発電設備を設置しました。



▲非ガソリン車
19台のハイブリッド車を導入しました。

水道水の飲用と環境に配慮した取組の促進

○令和6年度は都内11か所の水飲栓の維持管理等運営を行いました。また、Tokyowater Drinking Stationマップの二次元コードのついたステンレスボトルをイベントや水道サポーターの交流会で配布したほか、局内外に仮設の水飲栓を貸し出してイベント等で活用いただく等の広報を実施しました。



▲バスタ新宿に設置されているシンボリックな水飲栓



▲浅草文化観光センターに設置されているシンボリックな水飲栓



▲Tokyowater Drinking Station マップ
(https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/drinking_station)

水道水源林・玉川上水の保全



▲剪定等による眺望確保（玉川上水）
玉川上水を眺望できるよう、水路内の中低木の剪定等を実施しました。



▲法面保護工事の実施（玉川上水）
流水や風雨等の影響により崩落や浸食を受けている法面を補強しました。



▲玉川上水ウォーキング
紅葉時期に各自で玉川上水を散策していただくイベントを実施しました。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度		
太陽光発電設備	三郷浄水場	施工（完了）					-	上北沢給水所は、令和6年度に整備完了し、81kWの発電が可能となりました。
	清瀬梅園給水所	実績	施工（完了）				-	
			施工	（完了）				
	上北沢給水所	実績	施工	（完了）			整備を完了	
			施工		（完了）			
	深大寺給水所		調査・設計	施工（完了）			-	
小水力発電設備	東海給水所	実績	施工（完了）				設置を完了	東海給水所は、令和6年度に設置完了し、令和7年度から170kWの発電が可能となる見込みです。
			施工		（完了）			
	上北沢給水所	実績	施工	（完了）			設置を完了	上北沢給水所は、令和6年度に設置完了し、令和7年度から110kWの発電が可能となる見込みです。
			施工		（完了）			
	玉川給水所	見込	調査・設計	施工（完了）			事業を再精査中	玉川給水所は、令和4年度に発電設備工事を発注しましたが、契約不調となったため、事業を再精査しています。
			（延伸）		（再精査中）			
	第一板橋給水所	見込	調査・設計	施工（完了）			調査・設計を実施	第一板橋給水所及び砧浄水場は、事業再精査の結果、それぞれ令和10年度及び令和11年度の施工完了に向け、調査・設計を実施しました。
			（延伸）	（再精査）	調査・設計（10年度施工完了）			
	砧浄水場	見込	調査・設計	施工（完了）			調査・設計を実施	有明給水所は、令和6年度の契約不調を受け、事業を再精査し、施工期間を延長した上で、工事に着手しました。
			（再精査）	調査・設計（11年度施工完了）				
	有明給水所	見込		調査・設計	施工（完了）		工事を実施	小右衛門給水所は、関連工事延伸の影響により、施工時期を再精査しています。
				調査・設計	（9年度完了）			
	小右衛門給水所	見込			調査・設計	施工（8年度完了）	施工時期を再精査中	
					（再精査中）			

（注）計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

計画・実績・評価

事項		計画					6年度の実績	評価
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
(省エネ型ポンプ設備) 新設	清瀬梅園給水所(配水ポンプ)	施工(完了)					-	
	美住増圧ポンプ所(送水ポンプ)	施工(完了)					-	
	上北沢給水所(配水ポンプ)	施工(完了)					-	
(省エネ型ポンプ設備) 更新	三郷浄水場(高度浄水ポンプ) 実績	調査・設計 調査・設計(前倒)	施工(完了) 施工(完了)				-	三郷浄水場(原水ポンプ)は、施設能力に与える影響が大きいことから、耐震補強と併せて更新することとしていましたが、耐震補強の実施時期が変更となったため、調査・設計期間を延伸しました。 和田堀給水所(配水ポンプ)は、計画どおり工事を実施し、令和7年度も、引き続き工事を進めていきますが、関連工事との調整により、完了時期の延伸を見込んでいます。 淀橋給水所(配水ポンプ)は、過年度に延伸した工程どおり工事を実施しました。令和7年度も、引き続き、工事を進めていきます。 上井草給水所(送配水ポンプ)はポンプ仕様に係る追加検討等による工期の変更が生じたため、調査・設計期間を延伸しました。令和7年度は工事を進めていくこととしています。
	三郷浄水場(原水ポンプ) 見込				調査・設計 調査・設計	施工 (延伸)	調査・設計を実施	
	江東給水所(配水ポンプ)	施工(完了)					-	
	上井草給水所(配水ポンプ)	施工(完了)					-	
	葛西給水所(配水ポンプ) 実績	調査・設計 調査・設計(前倒)	施工(完了) 施工(完了)				-	
	和田堀給水所(配水ポンプ) 見込	調査・設計 調査・設計	施工 施工	(完了)		(延伸)	工事を実施	
	淀橋給水所(配水ポンプ) 見込	調査・設計 調査・設計	施工 (延伸)	(8年度完了) 施工(8年度完了)			工事を実施	
	上井草給水所(送配水ポンプ) 見込			調査・設計 調査・設計	施工(9年度完了) (延伸) 施工(10年度完了)		調査・設計を実施	
	非ガソリン車や電動バイクの導入	順次導入					非ガソリン車19台を導入	

(注) 計画と実際の進捗が異なる事項は、下段に見込みを示しております。

Ⅲ 東京水道を支える基盤の強化

第7 グループ経営の推進

(15) 業務運営体制の強化

目指す将来像

- 営業系業務は10年、技術系業務は20年を目途として政策連携団体（※）へ移転します。
- 受注者である政策連携団体の創意工夫により、お客さまサービスの向上や業務の効率化が図られる仕組みが導入されています。
- 政策連携団体の経営の自主性が向上しているとともに、東京水道グループ内のガバナンス等が強化されています。

令和6年度の主な取組

政策連携団体への業務移転の推進

移転年度 移転対象	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
営業所	・文京営業所	・葛飾営業所	・渋谷営業所	・荒川営業所 ・墨田営業所	・港営業所 ・杉並営業所
浄水場・給水所	・和田堀給水管理所	・練馬給水管理所 ・小作浄水場 (水質管理業務)	・砧浄水場 ・砧下浄水所 ・長沢浄水場	—	—
区域	—	—	—	—	・あきる野給水事務所が所管するエリア

- 令和6年度から荒川営業所及び墨田営業所を業務移転しました。
- また、令和7年度からの港営業所、杉並営業所及びあきる野給水事務所が所管するエリアの業務移転に向けた準備を行いました。

▲ 令和3年度から令和7年度までの業務移転の実施状況

※ 政策連携団体…都と協働して事業等を執行し、又は提案し、都と政策実現に向け連携する等、特に都政との関連性が高い団体で、全庁的に指導監督を行う必要がある団体

性能発注方式による包括委託の導入

○政策連携団体の創意工夫を促し、一層の効率化を図るため、これまで検討を行ってきた性能発注方式による包括委託について、令和7年4月から導入することとしました。

＜対象＞

長沢、砧、砧下の3浄水施設における業務

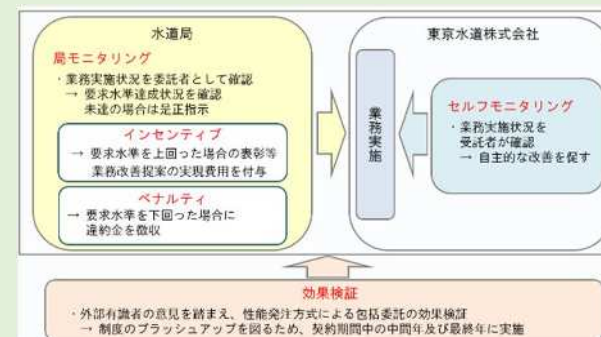
あきる野給水事務所が所管するエリアにおける技術系、営業系業務



▲対象業務

【主な検討事項】

- ・インセンティブ・ペナルティの仕組み、モニタリング方法
- ・対象業務の内容、手続の進め方 など



▲仕組みイメージ

政策連携団体との一体的な経営の推進



○グループ経営を新たなステージへと進化させるため、グループ経営に関する基本的な方針に基づき、グループ内のガバナンスを機能させていくとともに、業務の質を向上させ、相互連携を強化するなど、効率的かつ効果的な業務運営体制を構築していきます。

評価

○これまでの取組に引き続き、令和6年度もグループ経営を推進するとともに、政策連携団体へ業務を移転しました。

○性能発注方式による包括委託の仕組みの詳細を検討し、令和7年4月から導入することとしました。

○グループ経営戦略会議やコンプライアンス推進会議の開催をはじめ、人材の相互交流やグループが一体となった研修、グループの総合力をより一層高める取組である「ともにプロジェクト」等を引き続き実施しました。

Ⅲ 東京水道を支える基盤の強化

第8 強固な人材基盤

(16) 人材確保・育成

目指す将来像

- 将来の水道事業を担う人材を育成するための取組が着実に進んでいます。
- 水道工事を支える工事事業者の技術力向上や経営等をサポートする体制が構築されています。

令和6年度の主な取組

東京水道グループの人材育成



- 若手職員に業務を教える先輩職員経験豊富な主任等をOJTの推進役として位置づけた組織的なOJTを全職場で実施しました。

水道工事事業者の環境改善



- 都で取り組んでいる中小企業支援策について、局ホームページで案内するとともに、各事業所窓口パンフレットを配架しました。
- 東京都指定給水装置工事事業者説明会において、都で取り組んでいる中小企業支援策について、紹介しました。

評価

- 組織的なOJTの全職場実施では、教わる人の知識習得や現場経験だけでなく、教える人の指導力向上や職場全体の活性化にも効果がありました。
- また、コンプライアンスの取組では、PDCAサイクル(内部統制システム)がおおむね構築され、各職場では主体的な取組が見られる等、好循環が生まれています。

- 都で取り組んでいる中小企業支援策の案内等を通じて、水道工事事業者の経営等をサポートしました。
- 週休2日制確保工事、若手育成・女性活躍モデル工事を推進し、新規入職者等を確保しやすい環境づくりに取り組みました。

Ⅲ 東京水道を支える基盤の強化

(17) 他事業体貢献

目指す将来像

- 国内水道事業体の基盤強化に向けた支援を行い、真の地方創生を目指した全国との「共存共栄」に寄与しています。
- 実践的な技術力や事業運営力を活用し、諸外国における人材育成や技術支援を行うことで、途上国の諸都市の水事情の改善に貢献しています。

令和6年度の主な取組

国内水道事業体への貢献



- 日本水道協会関東地方支部内において、2件の支援を実施しました。（非常時における水質検査についての研修等を実施）

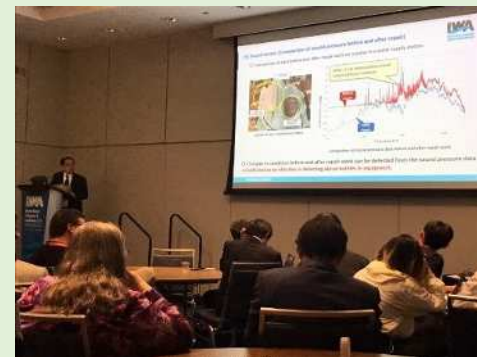
※川崎市での1件の支援と合わせて3件の支援を実施

- ▲宇都宮市への非常時における水質検査についての研修
- 檜原村への技術講習を実施しました。（漏水防止の実技講習等）

海外水道事業体への貢献



- ▲海外水道事業体職員向け研修（漏水探知実践研修の様子）



- ▲IWA世界会議・展示会(2024)での論文発表

評価

- 「首都圏水道事業体支援プラットフォーム」による首都圏水道事業体への研修を実施し、水道技術の向上に貢献しました。
- 海外諸都市からの様々な要望に応じて、漏水防止・浄水処理等に関する研修や意見交換、視察受入れ等を実施し、人材育成に貢献しました。
- カナダのトロントで開催されたIWA世界会議・展示会をはじめとした国際会議等の場で、論文発表やブース展示により、都の水道技術や事業運営のノウハウ等を世界に広くPRしました。

Ⅲ 東京水道を支える基盤の強化

第9 健全な財政基盤

(18) 健全な財政運営

目指す将来像

○計画に掲げた安定給水に必要な取組を推進した上で、計画期間5年間の累積収支は均衡し、現行の料金水準を維持した健全な財政運営ができています。

不断の経営努力

(単位：百万円)

事項		計画/実績					
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	計
事務事業の効率化による経費節減	計画	66	162	291	432	645	1,596
	実績	66	159	270	381	-	-
既定経費の節減	計画	655	1,353	1,619	1,759	1,930	7,316
	実績	1,096	2,226	2,461	2,748	-	-
資産の有効活用等による収入確保	計画	515	43	134	179	5,217	6,088
	実績	538	20	30	124	-	-
計	計画	1,236	1,558	2,044	2,370	7,792	15,000
	実績	1,700	2,405	2,761	3,253	-	-

評価

○業務運営体制の見直しによる事務事業の効率化や建設・維持管理コストの縮減、未利用地の売却等により、約33億円の経費縮減と収入確保を実現しました。

○引き続き、徹底した経費の縮減と収入の確保に取り組んでいきます。

財政計画

(単位：百万円)

年度		収 入						支 出					収支 過不足額	累積収支 過不足額 〔2年度末 計画984 実績1,129〕
		料金	起債	国庫 補助金	一般会計 繰入金	その他	計	営業 費用	支払 利息	元金 償還金	建設 改良費 (※)	計		
3年度	計画	309,385	45,279	65	3,171	50,629	408,529	260,124	3,605	15,727	133,721	413,177	△4,648	△3,664
	実績	300,568	25,280	0	3,183	45,841	374,872	245,331	2,745	19,924	111,609	379,609	△4,737	△3,608
4年度	計画	319,580	43,527	157	3,270	47,176	413,710	257,801	3,252	16,880	134,633	412,566	1,144	△2,520
	実績	304,295	31,995	90	3,288	51,759	391,427	256,898	2,446	19,153	117,429	395,926	△4,499	△8,107
5年度	計画	321,364	46,429	157	3,270	45,987	417,207	258,754	3,399	16,197	142,497	420,847	△3,640	△6,160
	実績	310,966	33,711	113	3,303	54,904	402,997	276,987	2,434	15,202	117,965	412,588	△9,591	△17,698
6年度	計画	321,235	43,775	157	3,270	45,730	414,167	256,320	3,609	14,796	140,202	414,927	△760	△6,920
	実績	314,398	48,073	513	3,562	52,552	419,098	274,404	2,611	12,716	132,373	422,104	△3,006	△20,704
7年度	計画	321,625	40,804	157	3,270	50,800	416,656	257,923	3,839	11,055	136,919	409,736	6,920	0

※水源開発に係る工事負担金の精算による還付を受けたことに伴い、発生した国庫補助金返還金及び一般会計出資金返還金を含む。

評価

- 令和6年度の財政収支は、収入4,191億円に対し、支出4,221億円、収支過不足額は30億円の不足となっています。
- 引き続き、計画に掲げた安定給水に必要な取組を推進した上で、現行の料金水準を維持した健全な財政運営を行っていきます。

Ⅲ 東京水道を支える基盤の強化

(19) 経営プランの推進

施設整備の目標管理（重点項目）

各項目の評価につきましては、該当のページを御参照ください。

施設整備指標	目標数値	指標の考え方	6年度実績
① 送水管ネットワークの整備率	12年度 93%	ネットワークを形成するために必要な送水管において、整備が完了した割合	85%
② 安定給水確保率	12年度 89%	配水区域をもつ浄水場や給水所などにおいて、配水池により、目標の水量（計画一日最大配水量の12時間相当）を確保した割合	87%
③ 浄水施設耐震化率	12年度 69%	着水井から配水池までの浄水施設を耐震化した割合	14%
④ 管路の耐震継手率	12年度 61%	配水管における耐震継手管の割合	52%
⑤ 地震発生時の断水率（※1）	12年度 19%	都心南部直下地震が発生した場合に断水が想定される給水人口の割合	24%
⑥ 取替困難管解消率 ※ ダクタイル化率100%	8年度 100%	取替困難管の延長に占める取替困難管を解消した延長の割合	75%
⑦ AIによる運転管理サポート 機能開発の進捗率	5年度 100%	浄水処理における薬品注入監視をAIによりサポートする機能の開発状況	100%

※1 令和4年5月に公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」において、断水率が最大と想定される都心南部直下地震が発生した場合の目標と実績に見直しました。

経営に関する目標管理

経営指標	目標数値	指標の考え方	6年度実績
① 経常収支比率	100%以上	財政構造の弾力性を表す 単年度収支が黒字となる目標数値を設定	103.3%
② 流動比率	100%以上	短期債務に対する支払能力を表す 安全な支払能力を示す目標数値を設定	146.2%
③ 自己資本構成比率	74%以上	総資本に対する自己資本の割合を表す 他の水道事業体の平均値などを参考に、目標数値を設定 (平成30年度決算値による都及び指定都市の平均は、約73.61%)	82.3%
④ 給水収益に対する 企業債元利償還金の割合	20%以下	給水収益に対する企業債の規模を表す 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」における一般会計での 基準、他の大規模事業体の数値等を参考に目標数値を設定	4.9%
⑤ 給水収益に対する 企業債残高の割合	300%以下		97.4%
⑥ 料金回収率(※)	100%以上	給水に係る費用がどの程度給水収益で賄えているかを表す 資金不足が生じていない状態である目標数値を設定	98.8%

※ 水道局独自の算出方法による。料金回収率(%)=販売単価÷給水原価×100、販売単価(円)=給水収益÷料金対象水量、
給水原価(円)=[(収益的支出－給水収益以外の収入－損益勘定留保資金)+(資本的支出－資本的収入)]÷料金対象水量

評価

- 令和6年度は、料金回収率については目標数値を僅かに下回ったものの、それ以外の指標は全て目標数値を達成しており、健全な財政運営を行っています。
- 料金回収率については、企業債の発行余力の活用等による収入確保に努めたことで給水原価が減少し、前年度から改善しています。目標数値である100%以上を下回る状態が続いてはいますが、料金水準の維持に対する問題は生じないものと見込んでいます。

令和6年度の主な取組

外部意見の事業への反映

- 事業運営のあり方について、外部の幅広い見地から意見・助言を得るため、外部有識者で構成する東京都水道事業運営戦略検討会議を開催しています。
- 令和6年度は、第17回・第18回東京都水道事業運営戦略検討会議をオンライン開催しました。

[第17回会議議事]

- ・ 新たな環境計画の策定
- ・ スマートメータのデータ利活用

[第18回会議議事]

- ・ 次期経営プラン策定に向けて



▲ 第18回会議の様子(令和6年12月開催)

評価

- 第17回・第18回東京都水道事業運営戦略検討会議で、多くの御意見をいただくことができました。本会議での議論を各施策へ適切に反映していきます。

関連資料

○「東京水道長期戦略構想2020」(令和2年7月策定)

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/seisaku/20200707-03>



○「東京水道経営プラン2021」(令和3年3月策定)

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/seisaku/plan2021/>



「東京水道経営プラン2021」事業評価に関する御意見・御提案をお寄せください。

○御意見・御提案がありましたら、

ホームページ下部に記載のメールアドレス宛にお問い合わせください。

<https://www.waterworks.metro.tokyo.lg.jp/suidojigyo/torikumi/hyoka/>

